

2021 年 10 月 15 日

株式会社東陽テクニカ

仮想基盤・VDI の管理／監視／ボトルネック可視化ツール「Uila」

新機能追加した ver.4.0 と「VDI オプション」を発売

～VDI におけるエンドツーエンドの総合的な可視化を実現、安定的な稼働を支援～

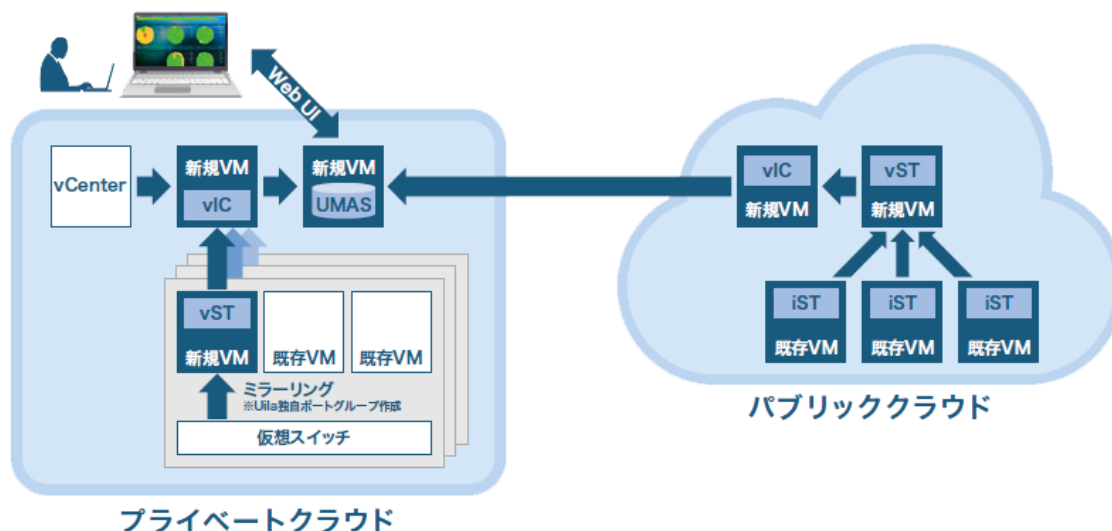
株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、仮想環境下の問題切り分けや、ボトルネックの可視化を行うための解析ソリューションソフトウェア「Uila」ver.4.0、および「Horizon VDI モニタリング オプション(以下 VDI オプション)」を 2021 年 10 月 15 日に販売開始いたします。「Uila」ver.4.0 は、機能拡張した「VDI オプション」との連携により、VDI(仮想デスクトップ基盤)セッションを一覧で可視化し、迅速な状況確認を可能にします。この「VDI オプション」は、VDI 環境下でユーザーが使用するアプリ／サービスの内容を把握するという「Uila」の従来機能に加え、ユーザーのログオン所要時間とその内訳を表示し、画面転送プロトコルの統計情報からネットワークの通信状況を正確に把握する機能を持ちます。この二つの連携により、通信の遅延や重さ、繋がらないなどの課題に対し、アプリ／サービス利用の制限、帯域や VDI リソースの最適化など、適切な対策が可能となります。



【 概要 】

仮想基盤／VDI の可視化、分析、最適化に特化した解析ソフトウェアツール「Uila」は、オンプレミス仮想化環境(VMware／Hyper-V 環境はエージェントレス導入)とパブリッククラウド(AWS／Azure／GCP など)における VM(仮想マシン)の構成と VM 同士の通信連携、システム上のボトルネックを可視化できます。通信レスポンスの問題に対してアプリケーションと基盤のどちらに原因があるのかについての切り分けや、データセンター、クラウド環境への移行前後にシステム環境を変更した場合などの調査にも有効です。

東陽テクニカでは、この「Uila」の取り扱いを 2017 年から始め、国内で数多くの企業に導入し企業内の情報システム機能の効率化を支援しています。このたび発売する、新機能を搭載した「Uila」ver.4.0 と「VDI オプション」の連携で、VDI セッションの可視化と迅速な通信状況の把握が可能となり、企業内で普及拡大しているテレワークの環境下において安定的な稼働を支援します。



「Uila」構成図

【「Uila」ver.4.0 の新機能】※以下の利用には「VDI オプション」が必要

・Horizon VDI セッション一覧

Horizon VDI セッションの一覧と各セッションのユーザー名、デスクトップ VM 名といった既存の表示機能に加え、ログオン所要時間とその内訳などを表示します。ユーザーはこれらの情報から気になる項目にワンクリックアクセスすることで素早く状況を確認することができます。

・画面転送プロトコルの統計情報の表示

VMware Horizon デプロイメントについて重要なメトリクスに関する深い知見が得られます。

ユーザーは VDI 上のアプリケーショントラフィック、VDI デスクトップセッションステータス、Blast プロトコルメトリクス、PCoIP メトリクスなどにアクセスできます。

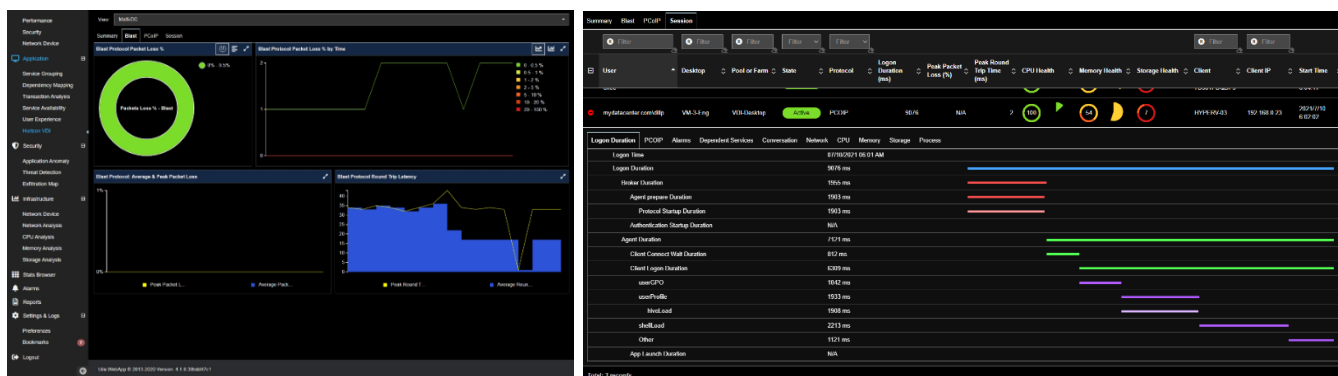
・VDI で複数のチャートが利用可能

< チャート一覧 >

- | | |
|---|----------------------------|
| ◆アプリケーショントラフィック分布 | ◆Blast プロトコルパケットロス率 |
| ◆時間別のアプリケーショントラフィック分布 | ◆時間別 Blast プロトコルパケットロス率 |
| ◆VDI デスクトップセッションステータス | ◆Blast プロトコル：パケットロスの平均とピーク |
| ◆表示プロトコル別の VDI デスクトップセッション | ◆PCoIP プロトコルラウンドトリップ遅延 |
| ◆VDI デスクトップセッションのログオン時間 | ◆Blast プロトコルラウンドトリップ遅延 |
| ◆送信された PCoIP パケットのパケットロス率(VDI デスクトップからエンドユーザー) | |
| ◆時間別に送信された PCoIP パケットのパケットロス率(VDI デスクトップからクライアント) | |
| ◆送信された PCoIP：パケットロスの平均とピーク(VDI デスクトップからクライアント) | |
| ◆受信した PCoIP パケットロス率(クライアントから VDI デスクトップ) | |
| ◆時間別の受信した PCoIP パケットのパケットロス率(クライアントから VDI デスクトップ) | |
| ◆受信した PCoIP：パケットロスの平均とピーク(クライアントから VDI デスクトップ) | |

・VDI セッションログオン情報の表示

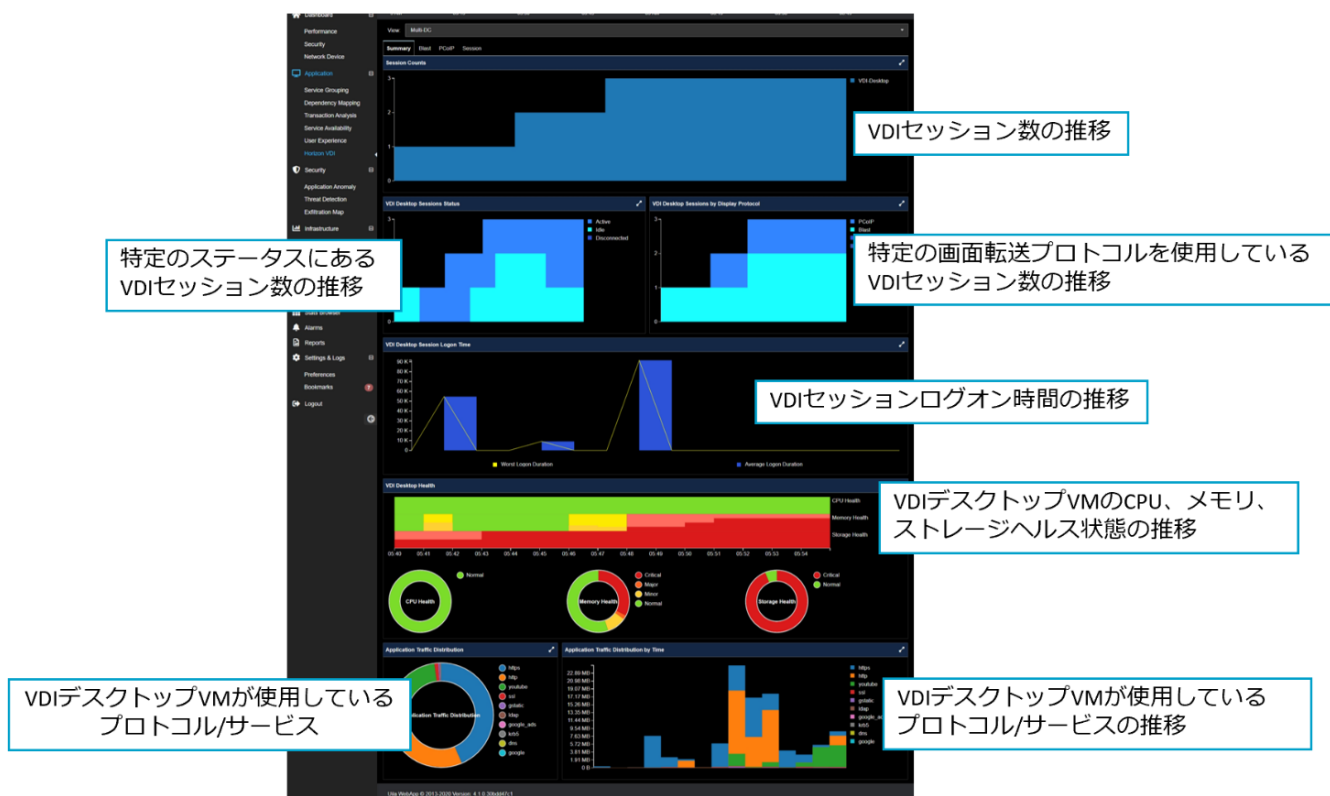
ブローカーの処理時間、エージェントの処理時間、アプリの起動時間などログオンプロセスの各ステップの所要時間を測定し、VDI エンドユーザーのログオンの失敗や遅延につながる問題を切り分けます。



画面イメージ：(左)Blast 画面転送プロトコルの統計情報、(右)セッション詳細情報(ログオン時間)

【「VDI オプション」について】※Horizon VDI における適用

Horizon Connection Server(VMware 社)から取得した情報と「Uila」の通常機能で取得したアプリケーション・リソース情報を合わせて可視化し、Horizon VDI の監視、トラブルシューティングを支援します。



「VDI オプション」利用の画面イメージ

【「VDI オプション」製品情報】

- ・製 品 名 : Horizon VDI モニタリング オプション
- ・発 売 日 : 2021 年 10 月 15 日
- ・参 考 価 格(S-HVDI-StarterKitT 100 アクティブセッション) : 450,000 円(税別)
- ・課 金 単 位 : 同時アクティブ VDI セッション数
- ・ライセンスタイプ : サブスクリプション

＜株式会社東陽テクニカについて＞

東陽テクニカは、1953 年の創立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC（電磁環境両立性）、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

Email : marketing_pr@toyo.co.jp

「Uila」製品ページ : <https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。